



市政この一年

新型コロナの対応に最優先に取り組みながら、新しい時代に対応するまちづくりを進めた2022年。鹿児島市の1年を写真とともに振り返ります。

新型コロナウイルスを乗り越えるために

一人一人が命を守る行動を

感染拡大防止に向けた取り組み

4月25日～
大型連休を前に下鶴市長が
感染症対策徹底を呼び掛け



感染力が強いオミクロン株への置き換わりが進む中、感染者数が急激に増加。1月にはまん延防止等重点措置が適用され、8月には県がBA5対策強化宣言を発令しました。

本市では、市長メッセージの発信や街頭ビジョンを使った動画放映などにより、場面に応じた感染症対策の徹底を繰り返し呼び掛けました。

希望する全ての人への

ワクチン接種を進めました

6月3日～
「予約なし・接種券なし」で接種が
受けられる集団接種会場を設置



3回目以降の追加接種に加えて、3月以降は小児などへの接種を開始。9月からは、従来のワクチンに替えてオミクロン株対応ワクチンの接種も始めました。

10代とその親世代の接種を促進するため、6月にはイオンモール鹿児島(写真)とセンターラス天文館に集団接種会場を設置するなど、希望する全ての人への接種を進めました。

コロナ下に、物価高騰の影響を受ける

市民・事業者の支援に取り組みました

7月12日
地域経済の回復などに向けて
コロナ対策関係者会議を開催



関係団体の皆さんの意見も伺いながら、物価高騰の影響も及び市民生活への支援や、事業者の事業継続などに向けた各種施策を行いました。

主な取り組み

- ・子育て世帯応援特別給付金支給事業
- ・レシートを活用したプレミアム還元事業
- ・バス・タクシー事業者への維持支援金
- ・生産性向上設備導入支援事業など

アフターコロナを見据えて

新しい時代に対応するまちづくり

鹿児島駅周辺整備が完了



これまで整備した自由通路や市電停留場に続き、駅前広場の供用を開始。利便性が高くバリアフリーに配慮した「鹿児島の北の玄関口」が完成しました。

センターラス天文館(天文館図書館)オープン



桜島や錦江湾の眺望も楽しめる複合ビルが完成。本市が設置した図書館には、テーマ別に整理された蔵書が約4万冊。まちなかでゆったりと本に触れ合えます。

多彩なメニューでにぎわい創出

「かごつま甲突川AutumnFes」



甲突川沿いで、民間活力によるにぎわい創出を目指して開催。キッチンカーやマルシェの出店、クルーズ体験など、リバーサイドを丸ごと楽しむイベントを行いました。

照国表参道を歩行者天国に



新たなにぎわい拠点の創出に向けて、オープンカフェや子ども遊び場を設ける社会実験を実施。いつもと違うまちなかに笑顔があふれました。

3年ぶり！帰ってきたかごしまの風物詩

磯海水浴場などで海開き(7月)



かごしま錦江湾サマーナイト大花火大会(8月)



桜島火の島祭り(10月)



感染症対策を徹底し、趣向を凝らしたさまざまなイベントを開催しました。

ICT(情報通信技術)の活用で

もっと便利で住みよいまちに

「電子図書館」スタート

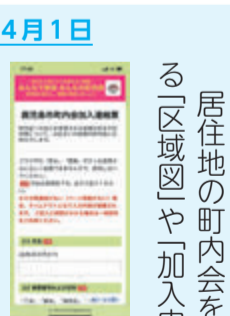


千点を超える電子書籍をパソコンやスマートフォンでいつでもどこでも楽しめる「電子図書館」がスタート。書籍を随時増やしてサービスを充実させていきます。



市電子図書館

オンラインで町内会加入申し込みが可能に



居住地の町内会をオンラインで検索できる「区域図」や「加入申込フォーム」をホームページに公開。新たに本市に転入した人などの加入促進につなげていきます。



オンライン申し込み

スマホで便利に本人確認

「障害者手帳アプリ「ミライロID」



障害者の利便性向上や心理的負担軽減を図るため、アプリを利用した本人確認の運用を開始。障害者割引を適用する、本市の90力所の施設などで使えます。



ミライロID

病児・病後児保育のネット予約受け付け開始



保育所に通う子どもが急に体調を崩したときなどに利用できる同保育。もしもそのときも、空き状況の確認・予約がオンラインで行えるようになりました。



病児・病後児保育

デジタル化・人材育成をさらに進めていきます

市教育委員会とソフトバンク(株)がAI(人工知能)人材の育成に関する連携協定を締結

5月16日



市電の運賃支払いに「タッチ決済」を導入する実証実験をスタート

11月1日



病児・病後児保育